

おめでとうございます

平成19年度 十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があったかたや、広く市民の模範となるかたをたたえるものです。

産業振興



四橋 善春さん
(74歳・稻生町)

昭和45年十和田職業能力開発校建築塗装科専任指導員に就任、平成3年から十和田職業訓練協会会长に就任、平成9年の新校舎設立などに尽力し、その間37年の長きにわたり多数の技術者育成に貢献しました。

また、平成4年青森県職業能力開発協会監事に就任、その後平成8年には同協会理事に就任し、認定事業訓練事業の推進に貢献しました。

防犯・交通安全



高谷 隆一さん
(70歳・米田字高谷)

昭和38年に十和田市防犯協会理事に就任、平成14年から同協会会长に就任し、以来44年にわたり犯罪のない、明るく、住みよいまちづくりの中心的役割を果たし、地域防犯活動の推進に貢献しました。

また、人権擁護委員、市社会福祉協議会理事、十和田地域安全・安心まちづくり推進協議会会长を歴任し、交通事故防止、青少年健全育成等に貢献しました。

農業振興



櫻田 貞藏さん
(81歳・三本木字間遠地)

昭和37年十和田地区種子更新協議会採種事業部(現十和田市水稻採種組合)設立以来6年間にわたり代表を務め、昭和43年から14年間同副部長、昭和57年から10年間十和田市水稻採種組合組合長、十和田市農業委員等を歴任し、青森県からの指定に向けた採種圃場の集約、食糧増産・自給率向上、優良種子生産など、農業振興に貢献しました。

また、十和田市民生委員・児童委員を務め、住民福祉の向上に貢献しました。

林業振興・地方自治



小笠原 恭裕さん
(71歳・奥瀬字下川目)

昭和42年旧十和田町森林組合理事に就任、昭和51年同組合長理事に就任し、現在、上北森林組合代表理事組合長を務め、その間、昭和58年青森県森林組合連合会監事に就任、その後同連合会理事、副会長ならびに会長理事の重責を担い、業界の発展に貢献しました。

また、昭和46年旧十和田湖町議會議員に当選、以来26年余の間には副議長、議長の要職を歴任し、住民福祉の向上ならびに町政の発展に貢献しました。

文化奨励賞



十和田フィルハーモニー
管弦楽団

平成2年県内第4番目のオーケストラとして誕生。毎年定期演奏会の開催や市民文化祭はじめ、各種イベントに十和田市のオーケストラとして積極的に出演するなど、今後さらなる活躍が期待されます。

文化奨励賞



大川 恵子さん
(58歳・三本木字本金崎)

昭和59年より俳句に携わり、上十三地区俳句連盟初代事務局長として活躍。十和田市野外文芸館の運営にも積極的に携わり、自らも県内の俳句大会で入賞するなど、今後さらなる活躍が期待されます。

文化奨励賞



石倉 伶子さん
(61歳・三本木字稻吉)

平成5年から絵画部門において活動を続け県展や新槐樹社展などで連続して入選、平成14年に会友に推挙、その後平成19年、新槐樹社展会友優秀賞を受賞するなど、今後のさらなる活躍が期待されます。

文化功労賞



石田 博さん
(69歳・西二十二番町)

平成6年から絵画部門において活動を続け、上十三芸術祭や十和田市民文化祭等で積極的に活動しながら現代美術家協会「現展」に連続9回入選、現展北奥羽支部事務局長を務めるなど、当市の文化向上に貢献しました。

文化功労賞



米田 忠好さん
(71歳・深持字後平)

三本木神楽より晴山集落に伝承された晴山獅子舞の舞手として活躍、53年間の長きにわたり獅子舞の普及に努め、獅子舞を地域に定着させました。また、保存会の会長を務めるなど、後進の指導にも熱心に取り組み、郷土芸能の継承発展に貢献しました。

文化功労賞



市澤 武美さん
(73歳・西五番町)

昭和27年から沢田鶏舞復活に携わり、舞い手として数々の大会、イベントに出演するなど伝統芸能の保存活用に尽力、平成2年から沢田小学校児童「沢田っ子鶏舞」の指導をはじめ、後継者の育成にも力を注ぎ郷土芸能の継承発展に貢献しました。

文化功労賞



石田 利克さん
(74歳・洞内字後野)

十和田市を中心に、上十三地域の同人詩誌創刊代表を務めながら詩の創作活動に励み、平成15年、詩集「終わらない旅」で第25回青森県詩人連盟賞を受賞、デリ一東北詩壇選者を務めるなど積極的に活動し、当市の誇りに値し、その功績は大きいです。

文化賞



小泉 進さん
(71歳・東六番町)

平成19年、世界最大規模の蘭展である「2007世界らん展」日本大賞の個人審査部門において、最高賞の日本大賞を受賞。平成15年にも同賞で奨励賞を受賞、当市の誇りに値し、その功績は大きいです。